

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 1 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 財務会計上の位置付け, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '水戸線整備促進期成同盟会参画事業' and '道路整備と交通網の充実'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about the committee's goals and activities.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns for years (26-30) and rows for ①手段, ②対象, ③意図. Includes metrics like '要望活動回数', '意見交換会数', and '改善した事項'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts for 26-30 years. Columns include 26年度(実績), 27年度(実績), 28年度(計画), 29年度(目標), 30年度(目標), and 期間限定総投入量. Rows include 国庫支出金, 事業費計(A), 人件費, and トータルコスト(A)+(B).

Table for 事業費の内訳 (Breakdown of Business Expenses) for 27 and 28 years. Columns show 27年度事業費実績 (千円) and 28年度事業費予算 (千円). Rows include 19 負担金補助及び交付金 and 合計.

(4) 当該年度の実施内容

Table for 当該年度の実施内容 (Implementation Content of the Current Year). Columns show 28年度, 29年度, and 30年度の事業内容. Includes a note about recording content by year and a list of main activities.

事務事業名	水戸線整備促進期成同盟会参画事業	事務事業No.	40604000291	所属課	企画課
-------	------------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	昭和61年に、JR水戸線の輸送力強化を図るため、水戸線の複線化を推進する組織として設立、その後鉄道の利便性向上を図るための施設整備や、運行ダイヤの改正、利用促進のための取り組みを目的として、現組織になった。
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	議会より、より一層の利便性向上を求めるよう意見があった。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	公共交通の維持・確保は政策の柱の一つでもあり、結びついている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	地域公共交通の維持・活性化は、市民生活に直結する問題であり、公共の関与は妥当である。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	行政側からの一方的要望のみではなく、JRとの連携により利便の向上と利用促進が図れる部分がある。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	沿線市町村が連携して行う取り組みであり、桜川市単独で休止すれば組織の枠組みに大きな影響が出る。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名	<input type="checkbox"/> 余地がない	他にもバス・タクシーといった公共交通の活性化を目的とした組織・取り組みはあるが、取り巻く環境や対象となる運行事業体の状況も異なり、統廃合や連携は難しい。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	同盟会で調整された負担金であることから、削減は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	公共交通の維持・確保は、多くの市民の生活に影響する問題であることから、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括（振り返り、反省点）																	
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	同盟会からの駅からハイキング活動支援助成金を活用して、鉄道利用の促進と市内観光客の増加を目的とした駅からハイキングを実施しに向け、観光誘致ポスターを作成した。																	
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																	
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持	（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策	<table border="1"> <tr><th colspan="3">コスト</th></tr> <tr><th></th><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr><th rowspan="3">成果</th><td>向上</td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>維持</td><td></td><td>×</td></tr> <tr><td>低下</td><td></td><td>×</td></tr> </table>	コスト				削減	維持	増加	成果	向上		○	維持		×	低下		×
コスト																		
	削減	維持	増加															
成果	向上		○															
	維持		×															
	低下		×															
JRと共同・連携した取り組み（イベントの実施、イベント列車の運行、施設のバリアフリー化等）の実施。新たな財政的負担や人的負担が懸念される。補助制度やボランティアの活用で対応する。	(6) 事務事業優先度評価結果																	
	成果優先度評価結果 ⑤																	
	コスト削減優先度評価結果 ⑧																	

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価	確認欄
<input type="checkbox"/> A：継続（現状維持） <input type="checkbox"/> B：継続（改革改善を行う）	<input type="checkbox"/> C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> D：2次評価へ提出